

令和2年度 第13回 吹田市政策会議概要

日 時：令和3年1月25日（月）午後2時5分～午後3時00分

開催方法・出席者：

オンライン開催

吹田市役所 高層棟4階 特別会議室から発信し、特別職及び担当部以外の構成員は自席から出席

【特別会議室に参集】

後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長

【自席から出席】

小西総務部長、稲田行政経営部長、高田市民部長、井田都市魅力部長、中嶋環境部長、乾都市計画部長、柳瀬下水道部長、山下学校教育部長、山村水道部長

所 管：【土木部（公園みどり室・総務交通室）】（特別会議室に参集）

船木部長、松本理事（公園みどり担当）、真壁次長

（公園みどり室）曾谷室長、勝山参事（総務交通室）野口室長

【地域教育部（中央図書館）】（特別会議室に参集）

木戸部長、長館長

案 件	官民連携による主要都市公園の再整備・管理運営手法の見直しに係る条例等の一部改正について
担当及び関連部局	土木部（公園みどり室、総務交通室） 地域教育部（中央図書館）
【案件概要】 吹田市が管理する主要8都市公園（千里南、千里北、紫金山、中の島、片山、桃山、江坂、健都レールサイドの各公園）について、Park-PFI等による再整備及び指定管理による管理運営を令和4年（2022年）4月1日から順次実施するため、関連する条例等の一部を改正するもの。	
【所管部の考え方】 主要8都市公園について、民間活力導入済みの2公園（千里南、健都レールサイドの各公園）は再整備無の指定管理（5年）、未導入の6公園（千里北、紫金山、中の島、片山、桃山、江坂の各公園）はPark-PFIを活用した再整備有の指定管理（5年以上20年以内）とするため、関連する条例等の一部を改正し、江坂公園及び桃山公園から実施する。再整備と管理運営の連携による相乗効果を発揮させるため、Park-PFI事業者及び指定管理者を公園毎に一括公募し、同一事業者を選定・指定する。 以上の手法の導入に当たっては、効果を検証しながら、必要に応じて見直しを行う。	

【質疑概要】

質問： 千里南公園は既に民間活力を導入しているから再整備できないのか。それとも、再整備の必要がないという認識なのか。

回答： 千里南公園は、既に収益施設となる飲食店の整備がされており、現時点ではPark-PFIの導入は難しいと考えている。ただし、今後の導入の可能性を否定するものではない。今回、Park-PFIによる再整備は行わないが、トイレの改修工事等の通常の整備は、これまでと同様に市が実施する。

意見： 千里南公園はにぎわいの創出を目的として、民間活力を導入した。次は一步進めて、都市公園全体の再整備・管理運営手法を検討しているものであり、千里南公園は進め方が異なることは理解する。

江坂公園と桃山公園から導入することについては、立地条件等から事業者の参入意欲が期待できるという点で妥当であると思う。他の公園については、それぞれの状況や周辺環境が異なるため、単純に同一手法を導入するのではなく、柔軟な進め方を検討する必要がある。

質問： 指定期間の上限を20年とした理由は。

回答： 都市公園法の規定によるPark-PFI期間の上限が、民間事業者の収益性等を考慮した20年となっている。民間事業者に行ったサウンディング型市場調査等においても、20年の上限設定は妥当だという回答を得ている。

質問： 上限を20年としなければ事業者からの応募はないということか。

回答： 調査結果からも20年を想定しているが、事業者の提案内容によって、20年未満となる可能性があると考えている。

質問： 効果を検証しながら、必要に応じて見直しを行うとあるが、20年という長期間の契約の中で見直しは可能なのか。

回答： ここで言う見直しは、他の公園への導入に当たって、手法の見直しを検討するものである。

質問： 既にPark-PFIを導入している他の自治体で、指定期間20年の事例はあるか。

回答： Park-PFIの導入事例は、全国で48公園、府内では、東大阪市、堺市が平成30年度から導入しており、民間活力導入による質の高い施設整備や、整備と管理を一体的に行うことによるサービス向上が実証されている。平成29年の法改正により新たに設けられた手法であるため、現時点で長期間にわたる管理が行われた事例はないが、20年の指定期間は、他市では一般的に採用されている。

指示： 指定期間が20年と長いため、5年目、10年目など、節目で効果検証を行うことや、常時事業者とコミュニケーションを取りながら事業を進める方策を立てておくこと。そうした方策を含めた先行事例等を十分に研究し、議論を深めて取り組むこと。

指示： 本市の公園の目指すべき姿を明確にし、それを実現させるためには、今、官民の連携が必要であるということをより分かりやすく説明できるようにしておくこと。

【結果】

本件は承認された。会議で出た指示、意見を踏まえて取組を進めること。